

## ●新発田市育英寮の効率的な利用について

### Q.

新発田市の育英寮について以下につきお答えください。仕事から新発田市民も含めた子ども達に進路指導もやっております。その際に奨学金や育英制度についても質問を受けることがあり、数年前に都内にある上記育英寮を訪問・見学し、当時の寮監であった方にも種々お聞きしたこともあります。

- 1) 現在の定員充足率をお聞かせください。
- 2) 募集方法（告知方法）を全てお聞かせください。現状の告知で十分か、新発田市教委の見解をお聞かせください。
- 3) 数年前、市内の中学校長に本制度につき校内生徒に告知（指導）を勧めたことがあります。残念ながら前向きな反応（回答）はなく、今の生徒を伝えても無駄のようにと私は受け取りました。今でも市内中学校内で本件の発信はないと理解しています。現在、学力はあるものの大学進学を諦めるケースも少なくなく、それは幼少期からの家庭内の貧困にあります。つまり、自己進路を考えるようになる小6や中学から奨学金やこのような制度を後期義務教育段階で生徒及び保護者に告知することは、義務教育段階での進路指導においても有益なことと考えますが、新発田市教委の見解をお聞かせください。
- 4) 本育英寮は現在男子寮となっています。しかしながら、都内の大学進学者を多く見込まれる新発田市内の新発田高校、新発田南高校普通科とも女子の在籍者が男子を上回っていると把握しています。男女平等主義や上記の実態に合わせるため、本育英寮を女子も受け入れられるよう施設を改築する必要性について、見解をお聞かせください。
- 5) 最近国立科学博物館がクラウドファンディングにより、予想を上回る寄附金を得たと聞きました。新発田市一般予算からの算出が困難でも、このような対応プラス本寮の出身者等にも寄附金を集めることにより、上記改築のため年次的にその資金を積み立てていくことは可能かと思いますが、新発田市の見解をお聞かせください。
- 6) 本寮の有益性を考えると、慢性化している定員不足の実態を改善することは必要と考えますが、新発田市の見解をお聞かせください。

（令和5年11月受付）

### A.

お仕事で子ども達に進路指導をされているとお聞きし、大変うれしく、お力添えをいただき感謝いたします。

「財団法人新発田育英会」が運営する「育英会学生寮」の歴史はとても古く、平成11年に創設100周年を迎え、将来を担う新発田市出身の学生の人材育成を図ることを目的として、市では、長年にわたり学生寮の運営に係る経費の一部を補助金として交付し支援してきました。

現在の入居率は、54.2%（入居13部屋／24部屋）であり、ここ数年は同程度で推移しております。入寮生の募集については、市のホームページで随時行っているほか、「広報しばた」に11月と2月の年2回募集記事を掲載しております。育英会からの話では、市内6高校と入寮実績がある市外4高校へは、育英会事務局が直接足を運び、当事業の

説明とパンフレットの配布に加え、先生方との意見交換、現役入寮生の保護者との懇談会などを行いながら情報を収集し、募集を広めているとのことでもあります。

また、「義務教育段階で生徒や保護者に奨学金や育英寮について告知する」とのご意見は、私も同感ですが、育英寮は、東京都内にあるため、現役中学生には東京進学（大学、専門学校）のイメージがつきにくく関心が薄かったものと捉えております。奨学金制度については、国や県などの関係機関から市に情報が入る都度、市のホームページ「各種奨学金制度」に掲載しており、今後もわかりやすい情報掲示に努め、必要な情報が、必要な時に市民が取り出せる体制を整えることが有益であると考えております。家庭の経済状況により学業をあきらめることがないように、適時適切な情報提供に努めてまいります。

「女子を受け入れる施設改築の必要性」では、現在の学生寮は女子学生の入寮は禁止としており、受け入れするためには改築が必要であります。ご提案いただいた同じ取組を育英会では「改築等積立基金」として、現入寮者から毎月後援会費1万円、育英寮OBからは寄付金という形で積み立てております。育英会からは将来的に女子の入寮を検討したい意向があると聞いており、今後の改築などにおいて、具体化が進むものと考えております。

そして、空き部屋の発生は財団の経営悪化にも繋がります。育英会の歴史は長く、新発田市の財産とも言えるものです。当市に独自の奨学金制度はありませんが、格安な学生寮を提供していることは、ある意味奨学金に代わる学生支援とも言え、重要な役割を担っております。

貴重なご意見は、常日頃から、児童・生徒と向き合いながらがんばっていらっしゃる保護者の方々の声をも代弁するものと受け止め、財団にも伝えるとともに、今後の検討の参考とさせていただきます。

（令和5年12月4日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。